

祈り

響きの空間

天台聲明とチエンバロ

てんだいししょうみやう

聲明

三人の天台宗僧侶

チエンバロ

岡田龍之介

日時

2008年 11月 2日(日) 午後3時30分より

会場

天台宗 平林山 千手院 客殿
(南佐久郡佐久穂町平林263)

主催

天台宗 平林山 千手院
方向舎



Program

四智讃(シチサン) 梵語(ボンゴ)

仏の徳を称える曲で、サンスクリット語を音写した句

四智讃 漢語(カンゴ)

四智梵語と同様に漢訳した句

唱礼(ショウレイ)

曼荼羅の仏を礼拝する声明

九方便(クホウベン)

仏に導くための九つの方法

大讃(ダイサン)

大日如来を称える曲

諸天漢語讃(ショテンカンゴサン)

諸天善神(ショテンゼンジン)を讃嘆する曲

吉慶漢語讃(キッキョウカンゴサン)

仏に対し慶びを表した曲

僧讃(ソウザン)

僧衆(ソウシュウ)を称える讃

吉慶梵語讃(キッキョウボンゴサン)

仏に対し慶びを表した曲 サンスクリットの音写

諸天漢語讃(ショテンカンゴサン)

F.クープラン:百合の花開く、ガヴォット
(1668-1733)

J.K.F.フィッシャー:シャコンヌ へ長調
(1665-1746)

J.J.フローベルガー:皇帝フェルディナントIV世の
崩御を悼む哀歌
(1616-1667)

J.S.バッハ:プレリュード 変ホ長調
(1685-1750)

D. スカルラッティ:ソナタ イ長調 K.208
(1685-1757)

F.クープラン:ラ・メストゥ

L.クープラン:シャコンヌ 二長調
(1626-1661)

J.デュフリ:ラ・ダマンズイ
(1715-1789)

J.S.バッハ:サラバンド ト長調

F.クープラン:ラ・ラファエル

J.S.バッハ:アリア ト長調

本日演奏するチェンバロの作品は皆、17、18世紀のバロック時代に作曲されたチェンバロのための作品です。思わず心が弾むような舞曲からしみじみとした味わいの渋い曲まで、様々なキャラクターの小品が登場します。

チェンバロはピアノが登場する以前の花形鍵盤楽器ですが、その音色は銀の鈴の音にたとえられるほど繊細かつ密やかなものでした。人に聴かせるというよりは自分自身の愉しみ、心の慰めといった趣のこれらの作品には、チェンバロの透明な音同様、聴く人をほっとさせリラックスさせる性質が潜んでいるように、私には思えます。チェンバロの音による静かな語りかけは、宗教的な祈りにも通ずる不思議な魅力と敬虔さを持っている、とも表現できるでしょうか？

本日はこれらの音楽を聲明ともどもお楽しみ頂ければ幸いです。

岡田龍之介

慶応義塾大学経済学部、東京藝術大学楽理科卒業。1986年同大学院修了。音楽学を角倉一朗、チェンバロを有田千代子、渡邊順生の各氏に師事。1983年にJ.J.ルノーのオペラ《村の占い師》(原語による本邦初演)でデビュー以来、数多くの演奏会に出演。国内外のバロック奏者とのアンサンブルで培った通奏低音には定評があり、近年はソロ、教育活動にも力を入れる。これまでにアリオン・レクチャーコンサート、栃木[蔵の街]音楽祭、目白バ・ロック音楽祭、北とびあ国際音楽祭、ソウル国際古楽祭、みなと・よこはまバロックシリーズ、旭川雪の美術館古楽コンサート、かなざわ史跡コンサート、NHK-FMなどに出演。第13回古楽コンクール(山梨)ではチェンバロ部門の審査員を務める。2003年にリリースされたソロCD「銀色の響き」(レコード芸術誌準特選)の他これまでに4枚のCDをリリース。古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」主宰。現在、洗足学園音楽大学、都留音楽祭各講師。